

令和3年度第1回

龍ヶ崎市歴史民俗資料館 運営審議会資料

龍ヶ崎市教育委員会文化・生涯学習課
(龍ヶ崎市歴史民俗資料館)

目次

◇議案第1号

令和3年度役員を選任（案）について …………… p1

○ 龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

*運営審議会の組織（抜粋）

*運営審議会の会議（抜粋）

◇議案第2号

令和3年度歴史民俗資料館事業報告について …………… p3

◇議案第3号

令和4年度歴史民俗資料館事業計画（案）について …………… p11

◇議案第4号

中期事業計画の進捗状況について …………… p16

別紙1 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

別紙2 龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数（平成29年度～令和3年度）

別紙3 中長期事業計画の進捗状況表

議案 第1号

役員を選任について

龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則第15条の規定に基づき、龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会の委員長及び副委員長の選出は、委員の互選によります。この度、教育委員会や各団体で役職者の異動が生じたため、新たに2名の方を委嘱しております。(別紙1,「龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会名簿」を参照。)

つきましては、事務局より、令和3年度からの龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会役員(案)を提案しますので承認を求めます。

記

令和3年度 龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会役員(案)

委員長 酒入 陽子

副委員長 堤 利明

○ 龍ヶ崎市歴史民俗資料館の設置及び管理に関する条例施行規則

(運営審議会の組織)

第15条 条例第12条の規定による龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会(以下「運営審議会」という。)は、委員の互選による委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長は、運営審議会を代表し、会務を総理する。
- 3 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(運営審議会の会議)

第16条 運営審議会の会議(以下「会議」という。)は、委員長が招集し、委員長は会議の議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができない。
- 3 会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

議案第2号

令和3年度 歴史民俗資料館事業報告

令和4年1月31日現在

(1) 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

1 常設展示			
展示期間	令和3年4月1日(木)～令和4年1月31日(月) ※ 龍ヶ崎市新型コロナウイルス感染症対策本部の決定に基づき、8月6日(金)～9月19日(日)は臨時休館した。これ以外にも対策本部の決定に基づき利用制限をしながら開館した。		
日 数	216日	入館者数	11,285人
展示場所	常設展示室, エントランス, 屋外		
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗		
内 容	<p>時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具、調度品のほか年中行事等について展示。</p> <p>エントランスホールには、国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。屋外では、市指定文化財の4号機関車をはじめ、納屋を模した建物に田舟や水稲栽培に用いた農具、商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。</p>		
2 ボランティア作品展「布れあい染織展」			
開催期間	4月20日(火)～5月9日(日)		
日 数	18日	入館者数	930人
開催場所	企画展示室		
内 容	<p>体験学習などで協働している資料館ボランティア共催で、染色や機織りの活動成果を発表する場として作品を展示。</p>		
3 ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル展			
開催期間	7月3日(土)～7月18日(日)		
日 数	14日	入館者数	639人
開催場所	企画展示室		
内 容	<p>戦争の悲惨さを次世代に伝え、平和に対する意識の高揚を目的に広島平和記念資料館から借用した写真パネルを展示した。会場内には折鶴を折るスペースを設け、広島平和祈念式典への中学生派遣の際に持参した。法制総務課と実施。</p>		

4 絹本著色十六羅漢像公開展（最終幕）			
開催期間	①7月31日（土）～8月29日（日） ※8月6日（金）から臨時休館した ②10月2日（土）～10月24日（日）		
日 数	25日	入館者数	計1,880人
開催場所	企画展示室		
内 容	金龍寺の十六羅漢像は、16幅すべて揃っており、保存状態も良好であることから国の重要文化財に指定されている。しかし、資料保存の観点から茨城県立歴史館（水戸市）に寄託され、市民がなかなか見ることができない作品です。そこで、教育委員会が年に4幅ずつ複製を製作し、昨年度に全幅が完成した。その16幅の羅漢像を一堂に会して展示したが、当初の会期は新型コロナウイルス感染症拡大のため5日間で中止した。再度日程を調整して、②の期間に展示した。		
5 郷土作家展 諸岡佳展			
開催期間	10月30日（土）～11月14日（日）		
日 数	14日	入館者数	1,483人
開催場所	企画展示室・多目的室・体験学習室		
内 容	日本南画院展や各地の墨彩画展に入賞をされている市内在住の諸岡佳さんが描いた風景画、仏画や空想画など約50点の幻想的な作品を展示鑑賞いただいた。		
6 収蔵品展			
開催期間	1月22日（土）～3月21日（月）		
日 数	8日	入館者数	275人
開催場所	企画展示室		
内 容	近年、寄贈・寄託された資料を展示公開し、当館の資料収集成果の発表の場とするとともに、『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」で紹介した資料を展示し、実物の魅力を鑑賞していただく。		



(2) 普及事業の実施

1 郷土史講演会 [次年度へ延期] 「常陸と下総の境を流れた古鬼怒・小貝の流路を探る（仮）」	
開催日	未定
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講 師	未定
内 容	水害予防に役立てるための「治水地形分類図」から解る昔の水害の跡や国境を流れていたとされる河川についてお話しいたします。
2 古文書講座 ①上級コース「近世古文書を読む」 ②初級コース「初めての古文書」	
開催回数	①上級コース ② 初級コース（各8回）
開催場所	多目的室

受講者数	①20名, ②7名	 <p>①天保2年「諸御用留帳」</p>
講師	①盛本昌広さん ②龍ヶ崎市古文書同好会員	
内容	<p>コロナ禍を考慮して、6月から受講コース毎にテキストを配布し、自宅学習の形態で古文書を読み進めた。12月と1月には対面方式で開催した。</p> <p>①天保2年(1831)横町伊勢屋『諸御用留帳』 ②明和元年(1764)『水戸殿通行につき触書留』等</p>	
3 歴史散歩		
開催日	①6月20日(日), ②10月23日(土), ③11月27日(土)	
参加者	①21名, ②20名, ③22名	
内容	<p>郷土を再発見する目的で、市内の旧所名跡沿いにコースを設定し、周辺の遺跡、寺社等を見学しながら歴史的背景を解説した。</p> <p>①は市民活動センターと共催し、米菓師など竜ヶ崎駅周辺を散策。 ②は駒馬台コミュニティセンターと共催し、屋代城跡など八代地区を散策。 ③は久保台コミュニティセンターと共催し、田町鹿島神社など龍ヶ崎東部地区を散策。</p>	
4 博物館見学会		
開催日	10月, 11月(各1回) [中止]	
内容	資料館活動への更なる理解を深める目的で、近隣の博物館や類似施設や文化財を見学する。	
5 れきみん祭り		
開催日	8月(1回) [中止]	
開催場所	館内及び屋外施設	
内容	資料館ボランティアの協力を得て、染色や機織りなどの複数の体験教室の実施とあわせ、水車や水鉄砲などの昔の道具を体験する機会を提供し、夏休みの子どもたちに、資料館に親しみ楽しんでもらう。	
6 駄菓子屋		
開催日	8月, 10月(各1回) [中止]	
開催場所	屋外展示場	
内容	子どもや親子連れ向けのイベントとして、屋外の店を利用した昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供する事業。	
7 れきみんシアター		
開催日	毎週土曜日 [中止]	
開催場所	多目的室	
内容	幼児, 小学生とその親子を対象に、「まんが日本昔話」を上映し、アニメを通して昔話を伝える事業。	
8 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会		
開催場所	多目的室	
開催日時	7月, 8月, 9月 第1土曜日 [中止]	
内容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムをデジタル化し編集したDVDの上映会を開催。	
9 撞舞コスプレ体験		
開催日	7月(2回) [中止]	
開催場所	エントランスホール	

内 容	子どもサイズ（100／120／140cm）の舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しむ事業。
-----	--

(3) 体験学習教室の実施

1 わら草履作り教室	
開催日	7月～8月（2回）〔中止〕
開催場所	体験学習室，屋外
講師	職員，資料館ボランティア
内 容	稲作の副産物で，現在は触れることが少なくなった藁を用い，技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
2 注連飾り作り教室	
開催日	12月12日（日），14日（火）
参加者数	各日6名
開催場所	体験学習室，屋外
講師	職員
内 容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び，製作技術を伝承する。 例年は資料館ボランティアに指導の手伝いをいただいているが，コロナ禍を考慮して定員を10名から6名に削減して職員が指導した。
	
3 草木染め教室	
開催日	5月，10月（計4回）〔中止〕
開催場所	体験学習室，屋外
講師	職員，資料館ボランティア
内 容	ハンカチとストールを素材に，春は桜の枝葉で，秋は藍やススキなどを用いて日本の伝統的な染めの技法を伝承する。
4 機織り伝承教室	
開催日	毎週火曜・木曜日
開催場所	体験学習室，エントランスホール
講師	資料館ボランティア
対象者	資料館ボランティアの希望者
内 容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し，その技術を永く伝承することを目的とする。また，館内で実演を行った。
5 機織り教室	
開催日	3月（4回予定）
開催場所	体験学習室，エントランスホール
講師	資料館ボランティア
内 容	はた織り機でランチョンマットを織る。
6 簡単機織り教室	
開催日	8月（1回）〔中止〕
開催場所	エントランスホール
講師	職員，資料館ボランティア
内 容	不要になった布を素材に新たな織物を作る「裂き織」を体験し，先人のリサイクル技術を学ぶ。
7 折り紙教室	

開催日	6月, 10月, 3月 [中止]
開催場所	体験学習室
講師	木村峰子さん
内容	季節に合わせて干支や年中行事などをテーマに, 装飾性のある作品を折り, 折り紙の魅力伝える。
8 お手玉作り教室	
開催日	2月(1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	資料館ボランティア
内容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り, お手玉遊び・数え唄等を伝承し, 昔の遊びに触れる。
9 竹細工教室	
開催日	8月(1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	金本典久さん
内容	竹とんぼや竹鉄砲, 笛など, 竹を用いた玩具を親子で協力して作り, 昔の遊びを伝承する。
10 龍ヶ崎とんび凧作り教室	
開催日	12月(1回) [中止]
開催場所	体験学習室
講師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を作り, 凧揚げ大会への参加をとおして, 失われつつある凧揚げの楽しさを伝承する。

(4) 文化活動の推進及び支援

1 『常陽小学生新聞』「昔の道具とくらし」に寄稿 【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ヶ崎 ・守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布		
内容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を寄稿し, 子どもたちに昔の道具とくらしに関心を促すとともに, 館のPRを図った。	
タイトル	①おひつ, ②張り板, ③吸入器, ④タイプライター, ⑤ガリ版印刷器, ⑥防毒面, ⑦竹ランプ	
		
令和3年10月号	令和4年1月号	令和4年3月号掲載予定

2 『りゅうほー』「龍ヶ崎よもやま話」を寄稿	
内 容	龍ヶ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で、さまざまなテーマの話を寄稿した掲載は不定期だが、次の6話が掲載された。
タイトル	①龍ヶ崎と藍、②龍ヶ崎は松のまち?～まぼろしの松並木～、③龍ヶ崎にあった軍需工場羽田精機、④貴重な資料を後世へ～歴史館の取り組み～、⑤沼の詩人澤ゆき、⑥伝説の男一馴馬の甚七ー
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>令和3年5月前半号「①龍ヶ崎と藍」</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>令和4年1月号「⑥伝説の男一馴馬の甚七ー」</p> </div> </div>
3 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室, 事務室
利用資料	<p>【貸出資料】</p> <p>白井喬二『富士に立つ影』概感の原稿, 昭和56年小貝川決壊の茨城新聞号外, 昭和56年小貝川決壊の航空写真パネル</p> <p>〔〇映像資料〕</p> <p>映像アーカイブ8ミリフィルム映像, 昭和10年龍ヶ崎を映した幻の映像, 龍ヶ崎の水と歴史, 撞舞, 昭和56年小貝川決壊ニュース集</p> <p>〔〇写真資料〕</p> <p>常磐線佐貫駅写真, 長興学校扁額写真, 阿曾古登肖像写真, 澤ゆき写真, 高松商店の外観写真</p> <p>【特別利用資料】</p> <p>龍ヶ崎市史中世城郭跡掲載図, 若柴宿の大絵馬写真, 撞舞写真</p>
4 小学校見学学習支援	
期 間	1月19日(水)～3月1日(火)(予定)
場 所	展示室, 多目的室, エントランスホール
対 象 者	市内, 近隣の小学校3年生
参 加 希望校	〈市内〉 川原代, 龍ヶ崎, 龍ヶ崎西, 大宮, 八原, 馴柴, 松葉, 長山, 城ノ内 〈市外〉 牛久第二, 牛久向台, 阿見第二, 阿見君原, かわち学園, 美浦大谷
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔の暮らし』の学習内容に合わせ、昔の道具の展示解説, ビデオ視聴, 綿繰などを実演する予定であった。「まん延防止等重点措置」が講じられる前に来館した川原代を除き中止とした。なお, 2月20日以降の来館予定については, 感染拡大状況を見て再考する。
5 学芸員実習生の受入	
期 間	8月16日(火)～8月21日(土)
場 所	歴史民俗資料館
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	学芸員の資格取得を目指す大学生に, 資料館業務の実習指導を行った。 【受入れ実習生数】3名(昭和女子大学, 筑波大学, 清泉女子大学)
6 職場体験の受け入れ	

期 間	①11月25日(木), 26日(金) ②12月16日(木), 17日(金)
受入れ校	①城西中学校6名 ②城ノ内中学校6名
内 容	中学生が将来の進路や職業について考え, 勤労について学ぶ機会を提供。 展示物作成等の体験指導を行った。
7 ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ヶ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に, より身近な生涯学習の場として, 親しむことができる人材を育成し, ボランティアが参画する事業を推進した。 【育成及び協働団体】 資料館ボランティア, 龍ヶ崎市古文書同好会

(5) 資料収集整理保存

1 資料の収集	
内 容	<p>資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。あわせて, 郷土史関係図書の充実を図るため自治体史, 博物館発行図書の収集を行った。</p> <p>【収集資料】()内は寄贈者氏名 ○龍ヶ崎農商銀行創立20周年記念花瓶外13点(尾山均), ○具足(富田晴美) ○龍ヶ崎市域の写真外 昭和30年～ 377枚(平田博子) ○川原代町花丸水神宮祭の幟2枚(松田和夫), ○龍吐水と炭火アイロン(本谷啓一) ○旧日本海軍士官用第二種軍装とマント(藤ヶ崎聡), ○印半纏2着(油原久喜) ○龍ヶ崎錦の手拭い1枚(渡辺寿子), ○龍ヶ崎町勢一覧外2点(岡澤英夫), ○川原代村絵図等古文書99点(菅谷博), ○8トラックステレオ外3点(小林征之)</p> <p>【寄贈図書】(発行機関名) (茨城県) 茨城県, 茨城県教育財団, 茨城県立歴史館, 茨城県近代美術館, 土浦市立博物館, 古河歴史博物館, 神栖市歴史民俗資料館, 稲敷市立歴史民俗資料館, 牛久市教育委員会, かすみがうら市歴史博物館, 小美玉市史料館, 筑波大学, 常陽藝文センター, 外 (千葉県) 国立歴史民俗博物館, 松戸市立博物館, 鎌ヶ谷市教育委員会, 佐倉市教育委員会, 野田市教育委員会, 関宿城博物館, 外 (埼玉県) 埼玉県歴史と民俗の博物館, 埼玉県立川の博物館, 戸田市立郷土博物館, 朝霞市立博物館, 外 (東京都) 東京都江戸東京博物館, 港区教育委員会, 杉並区立郷土博物館, 港区立港郷土資料館, 昭和館, 板橋区郷土資料館, 外 (神奈川県) 横浜市歴史博物館, 平塚市博物館, 外 (その他) 群馬県立歴史館, 岩宿博物館, 仙台市博物館, 仙台市史編纂委員会, 相馬市教育委員会, 外</p>
2 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い, 郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続した。

	また、収蔵資料及び展示資料の虫害、菌害を防止するため、9月6日（月）～11日（土）に燻蒸業務を実施した。
3 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	<p>『龍ヶ崎市史 民俗編』（平成5年刊行）に掲載されている祭礼など追跡調査として、次の祭礼の聞き取りや現地調査を行った。</p> <p>○聞き取り調査</p> <p>龍ヶ崎新町「稻荷講」（5/3）、 龍ヶ崎新町「オピシヤ」（5/3）、 大塚町「権現入り」（10/15）、 大塚町「御嶽神社のウブスナ祭」（10/15）、 大塚町「水神様と弁天様」（10/15）、 馴馬町「念佛講」（12/26）、 八代町上八代「弁天様」（2/8）</p> <p>○現地調査</p> <p>龍ヶ崎根町「道祖神社」（10/11）、 龍ヶ崎田町「鹿島神社講」（11/6）、 馴馬町明神坪「オピシヤ」（1/8）、 南中島町南中島地区「鹿嶋神社祈念祭」（1/9）、</p> <p>新型コロナウイルス感染症によって、祭礼を中断あるいは当番を留任する地区が増えている。さらに少子高齢化も加わって、上八代の弁天様の祭礼はコロナ過を契機に祭礼を廃止した最初の報告となった。</p> <p>コロナ禍後の地域祭礼を見据えて、追跡調査を継続する。</p>

議案第3号

令和4年度 歴史民俗資料館事業計画

- 以下の計画については、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じたうえで、出来る範囲で事業を実施する予定です。同感染症の拡大状況によっては事業を延期・中止する場合があります。

(1) 常設展示及び企画展・収蔵品展の開催

1 常設展示	
展示期間	令和4年4月1日(金)～令和5年3月31日(土)
展示場所	常設展示室, エントランス, 屋外
展示テーマ	龍ヶ崎の歴史と民俗
内 容	時系列的に龍ヶ崎の歴史を展示したものと人々のくらしとして民具, 調度品のほか年中行事等について展示。 エントランスホールには, 国選択・県指定無形民俗文化財の撞舞の4分の1模型と視聴覚資料「龍ヶ崎の水と歴史」等を展示上映。 屋外では, 市指定文化財の4号機関車をはじめ, 納屋を模した建物に田舟や水稻栽培に用いた農具, 商店を模した建物にたばこや駄菓子ケース等を展示。
2 ボランティア作品展「布れあい作品展」	
会 期	4月23日(土)～5月8日(日)
開催場所	企画展示室
内 容	体験学習で協働いただいている資料館ボランティアと共催で, 染色や機織り活動成果を発表する場として作品を展示。
3 非核平和推進事業展	
会 期	7月2日(土)～7月18日(月・祝)
開催場所	企画展示室
内 容	市法制総務課と共催で広島平和記念館所蔵の原爆写真パネルなどを展示して, 戦争や被爆体験を次世代に継承して平和意識の高揚を図る。
4 発掘遺跡紹介展「仲原遺跡」	
会 期	7月～8月
開催場所	企画展示室
内 容	平成31年(2019)につくばの里工業団地拡張事業に伴い半田町で発掘調査が行われた。住居跡から「世太」の墨書がある土師器や須恵器などが出土した。これらの遺物や遺構を紹介する。
	 <p>墨書「世太」須恵器</p>
5 龍ヶ崎のお店ハイカラ広告展	
会 期	9月～10月
開催場所	企画展示室
内 容	明治, 大正, 昭和初期に発行された龍ヶ崎商店街の地図や各店のチラシなどを展示し, 時代背景や流行, 物価などを探りながら, 活気のあった商店街と老舗店を紹介する。
6 郷土作家展	
会 期	11月
開催場所	企画展示室, 多目的室, 体験学習室
内 容	文化芸術フェスティバルの特別企画として, 龍ヶ崎にゆかりのある作家の作品を展示紹

	介し、郷土作家を顕彰する。
7 収蔵品展	「昔の道具とくらし」
会 期	1月～2月
開催場所	常設展示室、企画展示室
内 容	小学校3年生の社会科『古い道具と昔のくらし』の見学時期に合わせて、昔の道具類を展示し学習支援を行う。

(2) 普及事業の実施

1 郷土史講演会 「常陸と下総の境を流れた古鬼怒・小貝の流路を探る（仮）」	
開催日	未定
開催場所	多目的室
募集人数	30名
講師	未定
内 容	水害予防に役立てるための「治水地形分類図」から解る昔の水害の跡や国境を流れていたとされる河川についてお話しいたします。
2 古文書講座「近世古文書を読む」（上級コース・初級コース）	
開催回数	上級コース…8回 初級コース…8回
開催場所	多目的室
募集人数	各コース30名
講師	盛本昌広さん、古文書同好会員、 外
内 容	寄贈・寄託の近世史料をテキストに用い、くずし文字の解読方法を指導、歴史用語や時代背景を解説する。
3 歴史散歩	
開催日	5月、11月
見学コース	牛久沼やその周辺沿いにコースを設定
募集人数	30名
内 容	市民団体と協働して、郷土を再発見する目的で、牛久沼やその周辺沿いにコースを設定し、牛久沼の開発経過とその遺構等を見学、解説する。
4 博物館見学会	
開催日	未定（2回）
見学場所	未定
募集人数	各回30名
内 容	近隣の博物館を見学し、博物館や資料館活動への理解を深めていただく。
5 れきみん祭	
開催日	8月
開催場所	歴史民俗資料館
内 容	資料館ボランティアの協力を得て、染色や機織り等の複数の体験教室や、水車などの昔の道具体験を提供し、夏休み中の子どもたちが楽しみながら、資料館に親んでもらう機会とする。



6 駄菓子屋	
開催日	8月と10月
開催場所	歴史民俗資料館 屋外展示「店」
内 容	れきみん祭りとふれ愛広場の開催に合わせて、屋外の店で昭和レトロな懐かしい雰囲気と縁日的な楽しさを提供する事業。
7 れきみんシアター	
開催日	毎週土曜日
開催場所	多目的室
内 容	小中学生を対象に、「まんが日本昔ばなし」や「まんが日本史」等を上映し、アニメを通して歴史に対する関心を促進する。
8 8mmフィルムに映る「龍ヶ崎の記憶」上映会	
開催日時	7月, 8月, 9月 第1土曜日
開催場所	多目的室
内 容	協働事業「映像アーカイブによる街づくり」で市民から集めた8mmフィルムをデジタル化し編集したDVDの上映会を開催。
9 撞舞コスプレ体験	
開催日	7月(2回)
開催場所	エントランスホール
内 容	子どもサイズ(100/120/140cm)の舞男衣装を着て、撞舞展示コーナー前で写真撮影をしながら、舞男の気分を楽しむ事業。

(3) 体験学習教室の実施

1 わら草履作り教室	
開催日	8月(2回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	稲作の副産物で、現在は触れることが少なくなった「わら」を用い、技術の伝承と先人の知恵を学ぶ。
2 注連飾り作り教室	
開催日	12月(2回)
開催場所	歴体験学習室, 屋外
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	正月準備として作られる注連飾りの由来を学び、製作技術を伝承する。
3 竹細工教室	
開催日	8月
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	親子5組
講 師	竹細工作り伝承者
内 容	竹を用いた玩具の作り方・遊び方等を伝承し、併せて竹の特性を学ぶ。
4 草木染め教室	
開催日	5月, 9月(計4回)
開催場所	体験学習室, 屋外
募集人数	各回12名

講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	ハンカチとストールを素材に, 春は桜の枝葉で, 秋は藍やススキ等を用いて日本の伝統的な染めの技法を学ぶ。
5 折り紙教室	
開 催 日	6月, 11月, 3月 (計3回)
開催場所	多目的室
募集人数	各回12名
講 師	折り紙伝承者
内 容	和紙を使って装飾性のある作品を折り, 日本の文化である折り紙の魅力を楽しんでいただく。
6 機織り伝承教室	
開 催 日	毎週火曜・木曜日 (通年)
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室, エントランスホール
講 師	資料館ボランティア
対 象 者	資料館ボランティアの希望者
内 容	高機の保存と併せて機織りの技術を習得し, その技術を永く伝承することを目的とする。また, 館内で実演する。
7 機織り体験教室	
開 催 日	3月 (8回)
開催場所	体験学習室, エントランスホール
募集人数	各回4名
講 師	資料館ボランティア
内 容	龍ヶ崎木綿への理解を促進し, 技術伝承の一端を学ぶ。
8 簡単機織り教室	
開 催 日	8月 (2回)
開催場所	歴史民俗資料館 エントランスホール
募集人数	各回10名
講 師	職員, 資料館ボランティア
内 容	細く裂いた不要の布を素材に小型の卓上機で「裂き織」を体験し, 先人のリサイクル技法を伝える。
9 龍ヶ崎とんび凧教室	
開 催 日	12月
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室
募集人数	8名
講 師	龍ヶ崎とんび凧研究会
内 容	市民遺産に認定された「龍ヶ崎とんび凧」を復元制作し, その魅力と風化しつつある凧揚げの楽しさを伝承する。
10 お手玉作り教室	
開 催 日	2月
開催場所	歴史民俗資料館 体験学習室
募集人数	16名
講 師	資料館ボランティア
内 容	資料館で栽培した数珠玉を用いてお手玉を作り, お手玉遊び・数え唄等を伝承し, 昔の遊びに触れる。

(4) 文化活動の推進及び支援

1 常陽小学生新聞『昔の道具とくらし』に寄稿 ※【県南版】土浦・牛久・つくば・取手・龍ケ崎・守谷・つくばみらい 各市の公立小学校全児童に配布 【水戸版】水戸市の公立小学校全児童に配布	
内 容	当館が所蔵する昔の道具の写真と解説文を毎月寄稿し、子供たちに歴史への関心を促すとともに、館のPRを図る。
2 『りゅうほー』「龍ケ崎よもやま話」を寄稿	
内 容	龍ケ崎の歴史や民俗に関心を持っていただく目的で、さまざまなテーマの話を寄稿した掲載は不定期だが、全6回を掲載する。
3 資料閲覧及びレファレンス	
期 間	通年
場 所	図書研究室, 事務室
内 容	資料に対するレファレンスは、随時行う。また、市民グループの依頼により、展示解説や郷土史解説を開催して学習支援を行う。
4 学芸員実習生の受入	
期 間	1週間程度(8月)
対 象 者	希望する龍ケ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	各大学の依頼があり、次世代の学芸員を養成する目的で実習生の指導を行う。
5 ボランティア活動の推進及び支援	
期 間	通年
対 象 者	希望する龍ケ崎市在住, 出身者及び近隣市町村在住者
内 容	資料館や関連事業を市民や来館者に、より身近な生涯学習の場として、親しむことができる人材を育成し、ボランティアが参画する事業を推進する。
6 古い道具と昔のくらしの学習支援	
期 間	1月～2月
場 所	歴史民俗資料館
対 象 者	市内及び近隣小学校
内 容	小学3年生の社会科「古い道具と昔のくらし」の見学学習に合わせ、昔の道具の展示解説、ビデオ視聴、道具体験を提供し、学習内容に興味を深められるよう支援を行う。市内小学校は、見学予約が取りやすいように優先的に受付を行い、あわせて市役所のバスの手配を支援する。

(5) 資料収集整理保存

1 資料の収集	
内 容	資料館の設立目的に沿った郷土史料・民俗資料の収集を行う。併せて、郷土史関係図書の充実を図るため自治体史、博物館発行図書の収集を行う。
2 資料の整理・保存	
内 容	市内旧家等から寄贈・寄託及び借用している古文書等の資料の整理分類を行い、郷土史の調査研究に活用するため目録作成を継続して行く。また、収蔵資料及び展示資料の虫害、菌害を防止する燻蒸業務を行う指標とするため、環境測定及びトラップなどを設置してモニタリング調査を行う。
3 市内の祭礼や年中行事の調査	
内 容	『龍ケ崎市史 民俗編』(平成5年刊行)に掲載されている祭礼や年中行事の中で追跡調査が行われていない祭礼を中心に聞き取り調査を進める。

議案第4号

中期事業計画の進捗状況

- 別紙3の「中期事業計画の進捗状況表」のとおり。

別紙1

龍ヶ崎市歴史民俗資料館運営審議会委員名簿

氏名	選出区分	備考
細谷 順一郎	学校教育関係者	継続
秋山 卓也	学校教育関係者	新規
小野 威人	学校教育関係者	継続
酒入 陽子	学校教育関係者	継続
堤 利明	社会教育関係者	継続
田中 伸吾	学識経験者	継続
佐藤 正好	学識経験者	継続
塚本 裕	学識経験者	継続
飯島 進	学識経験者	新規
沼田 公美子	公募の市民	継続

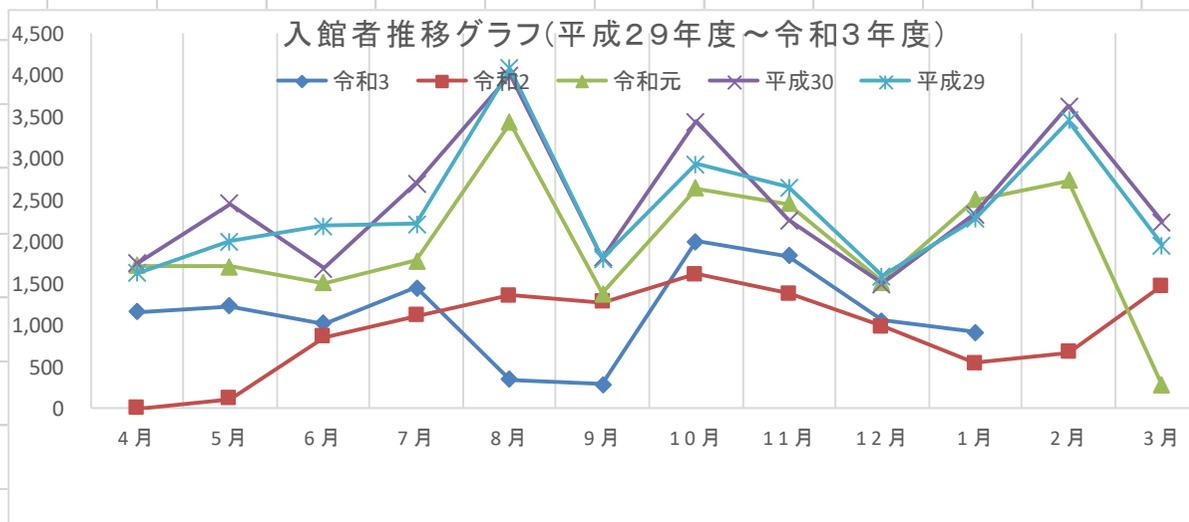
任期：令和3年10月1日から令和5年9月30日まで

龍ヶ崎市歴史民俗資料館入館者数(平成29年度～令和3年度)

令和4年2月1日現在

月 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計	開館日数	月平均	日平均
R3	1,162	1,226	1,020	1,451	339	291	2,002	1,827	1,052	915			11,285	216	1,129	52
前年度差異	1,162	1,111	165	339	△ 1,019	△ 977	395	450	66	377	△ 675	△ 1,472	△ 78	21	182	△ 6
R2	0	115	855	1,112	1,358	1,268	1,607	1,377	986	538	675	1,472	11,363	195	947	58
R1	1,714	1,703	1,507	1,770	3,428	1,381	2,641	2,453	1,517	2,506	2,734	276	23,630	280	1,969	84
H30	1,738	2,455	1,674	2,699	4,003	1,805	3,448	2,257	1,496	2,326	3,632	2,231	29,764	303	2,480	98
H29	1,624	2,006	2,193	2,218	4,077	1,793	2,932	2,654	1,590	2,269	3,452	1,953	28,761	308	2,397	93
合 計	6,238	7,505	7,249	9,250	13,205	6,538	12,630	10,568	6,641	8,554	10,493	5,932	104,803	1,302	1,807	80
平 均	1,248	1,501	1,450	1,850	2,641	1,308	2,526	2,114	1,328	1,711	2,623	1,483	20,961	260	349	80

開館以来の延べ数	
入館者数	761,025
開館日数	9,306
日平均	82



別紙3								
○中期事業計画の進捗状況表								
■文化・生涯学習課								
No.	担当課	事業名	事業概要	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
				事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容(経過)	事業内容	事業内容
1	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	小学生向け郷土学習シートの作成(市の歴史的・文化的資源に対する児童・生徒の理解を促進させる事業)	主に郷土学習を行う小学3年生をターゲットとして、市内の名所旧跡を学ぶことのできる郷土学習シートを作成するほか、各所にスタンプを配置し、スタンプラリーができる環境を作ります。	—	現行の副読本「わたしたちの龍ヶ崎」を参考に学習シートを作成中。改訂版が次年度に発行されることから学習シートの内容を再確認する必要がある。	刊行された改訂版の副読本を参考に学習シートを作成中。スタンプの配置は課題が多く中止。	学習シートを作成。QRコード等を活用したアプリのラリーを検討する。	学習シートを作成配布
2	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	市内の祭礼・年中行事調査の悉皆調査【市長ブレイクダウン】	かつての市史編さん事業で調査された祭礼や年中行事の現況を調査し、記録保存に努め、それらを市民に向けて明らかにし、関心を高めていきます。	市史掲載の祭礼を中心に37件の確認を行い、うち2件は現地調査を行った。なお、平成23年から同30年までに30件分は調査済である。	7件の祭礼の聞き取り調査を行った。しかし、コロナ禍であり対面での聞き取り調査が難しく、祭礼自体も中止となっており、進捗していない。	12件の祭礼について、聞き取りや現地調査を行った。コロナ禍から祭礼自体を廃止の報告も1件あり、地域の祭礼の追跡調査を継続する。	地域の祭礼の追跡調査を継続する	調査結果に基づき、存続が確認された祭礼で、特徴がある祭礼について現況を調査し、記録保存する。
3	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	文化財・市民遺産等案内ボランティアの育成	文化財や市民遺産等を解説し案内できる市民ボランティアを養成する。	—	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して文化財や市民遺産等を解説し案内できる人材を養成する。	NPO龍ヶ崎の価値ある建造物を保存する市民の会などの市民団体と協働して、まち歩き(歩く歴史講座)を計3回実施	ボランティアによるまち歩き実施。	ボランティアによるまち歩き実施。
4	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	市史編さん事業で整理・保管されている古文書の解説と活用	市史編さん事業で整理・目録化がなされた古文書のうち、未読のものを読み直し、明らかにしていない歴史や民俗等を明らかにします。	—	横町伊勢屋文書「諸御用留帳」を古文書講座のテキストとして解説。古文書同好会に資料提供して、宮瀬町豊崎家文書「御用留」の解説を進めている。	古文書の解説。	原稿の執筆依頼、古文書の解説	古文書の解説、研究紀要の刊行
5	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	埋蔵文化財収蔵庫の建設と考古資料の整理・活用	新たに埋蔵文化財収蔵庫を建設する計画を立てる。建設後は龍ヶ崎小学校敷地内収蔵庫で保管している考古資料を移転。継続的に資料の整理を進め、展示等に活用します。	—	学校給食センターの再利用を検討し、埋蔵文化財収蔵庫としての利用が可能であることから施設の再利用を申請。	学校給食センター再利用の調整。結果次第で改修工事の設計等を検討。又は新築工事等を見据えた設置場所等の検討	(前年度の検討を踏まえ)施設改修設計、又は新築設計	施設改修工事又は新築工事
6	文化・生涯学習課 (歴史民俗資料館)	旧北文間小学校跡地活用に合わせた長興学校創設者顕彰等の展示計画の作成【市長ブレイクダウン】	旧北文間小学校跡地活用に合わせ、元校舎の1室を展示室とし、長興学校創設者の阿曾古登の事績等を紹介するコーナーを設ける。	展示資料の調査・整理 展示計画の策定	新資料、「飯塚古登へ褒章授与ノ件(国立公文書館蔵)」の調査。褒章などの所在確認し、借用交渉中。	借用できた褒章や新資料の調査結果を加えた展示概要書を作成	長興学校創設者顕彰等の展示準備、公開	